

# ひらいずみ 議会だより



○主な内容

定例会9月会議

さらなる健全財政の維持を……………2

一般質問

ここが聞きたい  
7議員が町の考えを問う……………8

常任委員会活動……………16

## 農業の楽しさを実感

今年5月、長島字前林地内に農福連携型就労継続支援B型「ねぎまーる」が開所されました。皆さん、生き生きと農作業に勤しんでいます。

(関連記事P20)

※写真はご本人、ご家族の了承の上掲載しております。

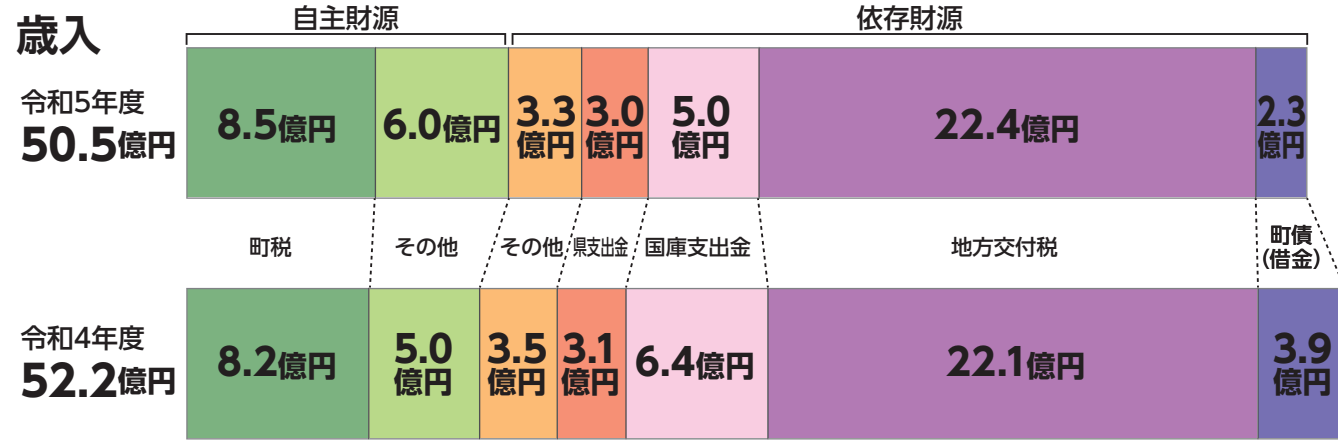
# さらなる健全財政の

# 維持を



議会定例会9月会議は、9日から19日までの会期中で開催し、令和5年度の決算審査では、特別会計等を含む7会計の決算を認定しました。

## 定例会9月会議



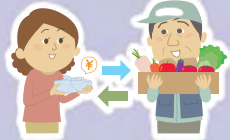
予算の詳細内容は、「広報ひらいずみ10月号」をご覧ください。



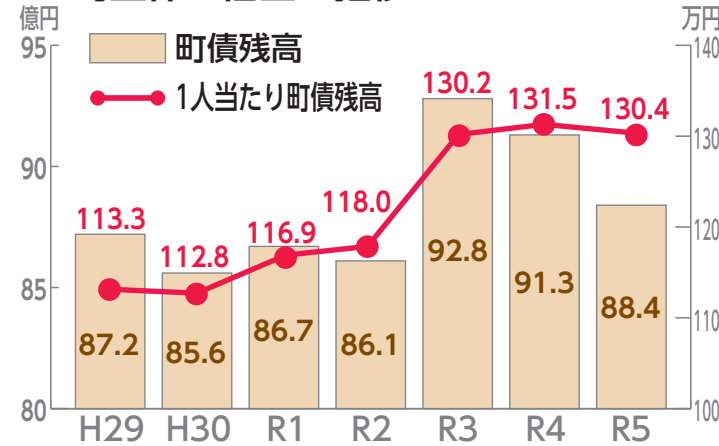
### 平泉町のふるさと納税推移

平成30年度	280万円
令和元年度	1,183万円
令和2年度	514万円
令和3年度	976万円
令和4年度	2,394万円

令和5年度は  
**3,634万円**



### 町全体の借金の推移



### 財政調整基金(貯金)



年度間の財源の変動に備えて積み立てている基金。大規模災害の発生や、大幅な税収減などがある年度に取り崩しを行う。

令和5年度末残高  
**11億1,240万円**

令和4年度から**5,804万円減額**

### 地方債(借金)



町が公共施設整備などに必要な資金を、国や金融機関から調達する。

令和5年度末残高  
**49億7,549万円**

令和4年度から**1億9,782万円減額**

### 実質公債費比率



借金返済の割合。数値が高いほど他に充てるお金が必要になる。

令和5年度  
**10.5%**

令和4年度から  
**0.2ポイント悪化**  
令和4年度決算 県内では19町村中 33市町村中 9番目、17番目に高い

### 将来負担比率



将来負担する借金返済の割合。数値が高いほど他の財源に充てるお金が必要になる。

令和5年度  
**75.7%**

令和4年度から  
**11.1ポイント向上**  
令和4年度決算 県内では19町村中 33市町村中 2番目、3番目に高い

### 主な事業

#### 町民の声



地域おこし協力隊の方々には、地域住民と交流を深めて頂く事で、人口減少・産業振興等の諸課題について解決頂ける事を期待します。

千葉 考喜さん  
(平泉字花立)

#### 令和5年度に実施された主な新規事業

- 地域おこし協力隊活用事業.....1,618万円
- ため池ハザードマップ作成事業.....520万円
- 営農継続農業機械支援事業(補助金).....395万円
- 園芸産地形成推進事業(補助金).....51万円
- 収入保険加入促進事業(補助金).....56万円
- 出産応援金.....120万円(24件)
- 子育て応援金.....105万円(21件)
- 次世代技術者養成事業(プログラミング教室など).....1,088万円

### 監査委員の意見



青木町長に審査意見書を提出する  
鈴木清三監査委員、千葉多嘉男監査委員

#### (1) 時間外勤務について

高い水準のまま推移し、健康障害リスクが懸念される。職場内において業務配分の見直し、情報の共有化を一層図り、適切な業務管理に努めること。

#### (2) 業務マニュアルの整備

事務処理ミスについては減少し、改善の傾向が見られた。業務内容やそのプロセスを「見える化」することにより、業務の効率化が図られることから、引き続き業務マニュアルの整備について取り組むべきである。

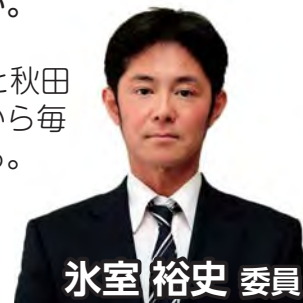
#### (3) 持続可能な財政運営

経常収支比率は95.4%となり、前年度と比較して0.7ポイントの増となった。今後の事業、施策の展開に当たっては、投資効果を十分に見極め健全な財政運営の維持に努めること。

### 今後も継続的に活用を

**問** 成果報告書によれば、SIC 駐車場では前年度にイベントが5件行われている。今後も継続的に行われるのか。

**答** JAF のオートレースと秋田犬の品評会は主催者側から毎年やりたいとの声がある。



氷室 裕史 委員

### 今後も利用者ニーズに沿って

**問** 浄土の館は年々利用者が増えている。体制強化等の取り組みはどのようになっているか。

**答** 夕食を町内飲食店と連携を図るなど、利用者に沿ったプランを提供している。また管理体制も9月から2人体制になっており、体制は強化されたと考えている。



阿部 圭二 委員

## 事業執行の効果を厳しく審査

9月11日、12日に決算審査特別委員会を開催し、令和5年度の決算を集中審議しました。すべての会計決算について、審査意見を付して、可決すべきものと決定しました。



決算審査特別委員長  
升沢 博子



副委員長  
小笠寺 享

### 町民の声



平泉SIC駐車場が、イベント会場として使用できるとは分からなかった。有効利用の観点から良いことで、子供達の公園がわりだったり遊び場としても使用できればと思います。

おの でのしんいち  
小野寺信一さん  
(長島字月館)

### 事務処理のチェック体制構築を

**問** 給食費の過誤納還付金 50万4,000円の経緯は。

**答** 昨年度、幼児教育の無償化にともなう子どもの第3子以降が無料だったが、教育委員会でのシステム設定の誤りのため発生した。

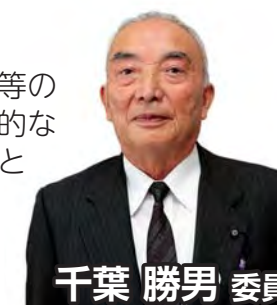


大友 仁子 委員

### 新商品開発に注力を

**問** ヤーコンを活用した新商品開発の見通しは。町が積極的にフォローしていくべきではないか。

**答** 現在、ヤーコンビール等の研究を重ねている。将来的な製品化に向けてしっかりと取り組んでいきたい。



千葉 勝男 委員

### 観光客や住民への配慮を

**問** 町道衣関線の電線地中化工事の期間は、観光客に配慮した日程になっているのか。

**答** 県と共に取り組む事業であり、10月又は11月前後から工事を開始する予定である。



佐藤 孝悟 委員

### 予算計上は慎重に

**問** 企業版ふるさと寄付金で当初予算は3,000万円を計上していたが、結果的に0円となった要因は。

**答** バイオレジリエンス研究所、スパルタキャンプ等の起業を目指す人への支援を募っているが、結果として実績がなかったためである。



小笠寺 享 委員



※決算審査特別委員会は、高橋拓生議長、千葉多嘉男議選監査委員を除いた全議員で構成しています。

### 町民の声



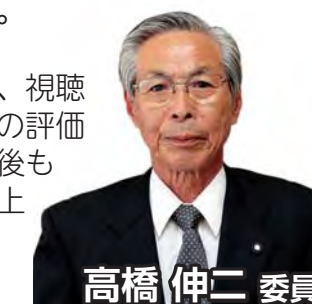
中尊寺通りが趣のある一体的な通りに整備されることで、多くの観光客に散策して頂き、賑わいのある街並みになって欲しい。

かさい ちえ  
葛西 智恵さん  
(平泉字衣関)

### 助成ありきの事業は慎重に

**問** 昨年度から元気情報ラジオ配信事業が全額町の負担となった。この事業の費用対効果をどう捉えているか。

**答** 町の単費となったが、視聴している方からは一定の評価を得ている。内容は今後も精査し、さらに効果を上げていきたい。



高橋 伸二 委員

## 審査意見

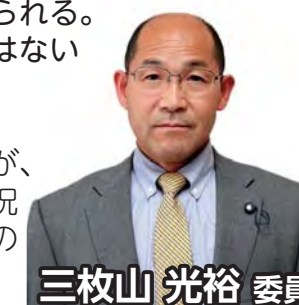
- 1、町税については収納率の向上を図り、納税者に向き合った対応と、正確な実務に努められたい。
- 2、若い世代の定住促進のため、子育て支援策とともに、住環境の充実にも取り組まれたい。
- 3、指定管理や委託事業及び交付事業にあたっては、その成果と課題を検証し、関係者の意見も聞き、積極的な成果に結びつくように取

- り組まれたい。
- 4、農業振興については、新規就農の支援策とともに、農家所得の向上策に取り組まれたい。
- 5、観光振興については、新型コロナウイルス感染症の5類移行にともなう観光客の増加、インバウンドの回復傾向を受け、閑散期の対策やSNSでの発信強化の施策を講じられたい。

### 制度の柔軟な運用を

**問** 営農継続農業機械支援事業補助金は2年目となり、特に申請の手続き等に時間を要することが課題と考えられる。弾力的に対応すべきではないか。

**答** 課題は認識しているが、予算が枯渇している状況等ではどうしても即時の対応ができない。



三枚山 光裕 委員

### 関係人口の創出を

**問** ふるさと住民カードの内容と作成進捗はどのようになっているか。

**答** 主にスパルタキャンプに参加した方をターゲットに募集を考えている。また、カード所持者への何らかの優遇措置も考えている。



真筆 光幸 委員

給特法の廃止及び教職員の働き方改革の促進を求める意見書採択の請願

反対です	討論	賛成です
<p><b>真筆 光幸 議員</b> 時間外勤務手当の支給は時間の把握が困難である。教職は労働者とは一線を画すため、給与体系だけに固執すべきではない。</p> <p><b>大友 仁子 議員</b> 教員は特殊な勤務で時間外勤務を正確に掌握することは難しく、文科省では教員を増員するなど業務削減を目指している。</p>		<p><b>氷室 裕史 議員</b> 教職調整額の増額は時間外労働の抑制をもたらすものではない。給特法を廃止し、実働に応じた適正な時間外勤務手当を支給すべきである。</p> <p><b>三枚山 光裕 議員</b> 本請願は憲法に則った要請であり、請願者の願意は汲み取られるべきである。</p>

えん罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める請願

反対です	討論	賛成です
<p><b>大友 仁子 議員</b> 再審制度を安易に認めることは日本の三審制の信頼を揺るがせる。最高裁の判断は原則正しいという法的安定性もある。</p> <p><b>真筆 光幸 議員</b> 多くの専門家が長年の議論を重ねても、未だに結論の出ない事案であり、地方議会が審議できるものではない。</p>		<p><b>三枚山 光裕 議員</b> えん罪は決してあってはならない。無実の人が罪に問われてはならない。</p> <p><b>阿部 圭二 議員</b> えん罪は早急に救われるべきである。各党首も再審法の改正に前向きである。</p>

採決の結果、賛成多数で**採択**されました。

# ここが聞きたい！

## 一般質問で町の考えを問う

各議員の質問内容は次ページです。

**P 8 大友 仁子議員**

- ①熱中症対策の推進

**P 9 氷室 裕史議員**

- ①平泉町空家等対策計画
- ②部活動の地域移行

**P10 千葉 多嘉男議員**

- ①平泉町高齢者福祉計画

**P11 小笠寺 享議員**

- ①農業振興
- ②消防団活動

**P12 三枚山 光裕議員**

- ①産業動物獣医師の不足対応
- ②平和な世界の実現へ、平泉町からの発信
- ③小学校での「町内の職場訪問」の実施

**P13 真筆 光幸議員**

- ①町内空き家対策
- ②ふるさと納税返礼品

**P14 阿部 圭二議員**

- ①放課後児童クラブ
- ②健康保険証の廃止
- ③福祉灯油

※各議員の質問ページの氏名隣のQRコードから、個人の質問内容がご覧になれます。

議会定例会12月会議のお知らせ

# 12月5日(木)～12日(木) 開催予定

※本会議はインターネットで生中継しています。  
※傍聴にお越しください。



## 議案内容と審議結果

賛否のあった議案以外は全員賛成で可決しています。

議会定例会9月会議 (9月9日～19日)

議案及び内容	開 議
<b>報 告</b>	
損害賠償の額の決定に関する専決処分(2件)	
健全化判断比率及び資金不足比率の報告	2
<b>令和5年度決算認定</b>	
一般会計、特別会計(4会計)、下水道事業会計、水道事業会計	2～5
<b>条例案件</b>	
平泉町国民健康保険条例の一部を改正する条例	
駐車場施設整備基金条例の一部を改正する条例	
平泉町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
<b>事件案件</b>	
財産の取得(町立小中学校電子黒板一式1,100万5,500円)	
岩手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて	
令和5年度平泉町水道事業会計未処分利益剰余金の処分(未処分利益剰余金1,249万4,000円の処分)	
<b>令和6年度補正予算</b>	
一般会計補正予算(第4号)(1億7,893万2千円の増)	
国民健康保険特別会計補正予算(第3号)(21万1千円の増)	
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(89万9千円の増)	
健康福祉交流館特別会計補正予算(第2号)(275万1千円の増)	
町営駐車場特別会計補正予算(第2号)(397万7千円の増)	
一般会計補正予算(第5号)(19万2千円の減)	
<b>人事案件</b>	
教育委員の選任同意 千葉 義信さん(再任)	
人権擁護委員の諮問 瀧澤 エイ子さん(再任)	
<b>議員発議</b>	
議員による県外研修視察(青森県佐井村、青森県青森市、岩手県紫波町)	
給特法の廃止及び教職員の働き方改革の促進を求める意見書の提出(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣へ提出)	7
えん罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める意見書の提出(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣へ提出)	7

賛否の公表

議 案	賛否のあった議題													採決結果		
	議員名	小笠寺 享	千葉多嘉男	大友 仁子	氷室 裕史	阿部 圭二	三枚山 光裕	真筆 光幸	高橋 伸二	佐藤 孝悟	千葉 勝男	升 博子	高橋 拓生		賛成	反対
請願第2号	給特法の廃止及び教職員の働き方改革の促進を求める意見書採択の請願	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○	-	7	4	採択
請願第3号	えん罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める請願	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	-	8	3	採択
発議第14号	給特法の廃止及び教職員の働き方改革の促進を求める意見書の提出	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	-	8	3	可決
発議第15号	えん罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める意見書の提出	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	-	8	3	可決

※採決に議長は参加していません。



加工品などの農産物を、道の駅だけでなく売場を増やしていければ、農作物も必要になり作る人も増えていくのではないかと。  
菅原 悦朗さん(平泉字広滝)

主な補正予算

- 長島球場スコアボード改修工事費.....2,276万円
- 護岸補修等工事費.....162万円
- 町営住宅修繕工事費.....110万円
- 6次産業化促進支援事業補助金.....350万円
- 特産品開発支援事業補助金.....50万円
- 起業・事業承継支援事業費補助金.....100万円



大友 仁子 議員

### 高齢者世帯へエアコンの助成を

答 現時点では考えていない



**問** 高齢者世帯へのエアコン設置に対する補助金助成を  
する考えはないか。

**町長** 高齢者は、暑さや喉の渴きを感じにくく、自覚がないまま熱中症にかかる危険があるため、こまめな水分補給や扇風機・エアコンなどを使用して予防が大事である。防災無線やライオンなどで周知をしており、現時点ではエアコンの助成は考えていない。

けをお願いしている。  
**問** 熱中症予防のために、高齢者世帯のエアコン整備も必要と考えるが見解はないか。

**保健センター長** エアコンの利用、点検なども声がけをしていく。

**問** 宮古市でも高齢者世帯、障がい者世帯、子育て世帯を対象に助成を行っている。来夏に向けてエアコンの助成を検討する考えはないか。

**保健センター長** 県や近隣自治体の動向を注視する。



熱中症予防対策を

**問** 学校体育館等へのエアコン設置に関する町の考えはないか。

**教育長** 学校体育館は、児童生徒の体育活動や部活動の場であるとともに、災害時の避難所としての役割も担っており、冷房設備の整備は必要と認識している。今後は、体育館の老朽化状況などを総合的に勘案しながら検討する。

**問** 夏場の体育や部活動は、どのように行っているか。

**教育次長** 学校熱中症対策ガイドラインをもとに、熱中症特別アラート、暑

さ指数を確認しながら運動等の制限を行っている。

**問** PTA保護者や地域住民からの要望はないか。

**教育次長** 学校体育館にエアコン設置の要望は何つていますが、財政状況等を考慮しながら検討する必要はある。

**問** 文科省は、学校施設設置環境改善交付金のエアコン設備の補助率を2分の1に引き上げたが見解はないか。

**教育次長** 今後、総合的に勘案し検討する。

### 体育館へのエアコン設置は

答 総合的に勘案し検討する

長期的な地球温暖化で、夏場は危険な暑さが続いた。熱中症の救急搬送は、7割が屋内になっている。来夏に向けて暑さ対策に取り組んで参りたい！

議員のひとりごと

### 部活動の地域移行の今後は

答 生徒第一の環境を構築する

**問** 地域移行化により各家庭の送迎等の負担が増加すると考えられる。どのように対応していくのか。

**教育次長** まだ具体的な結論には至っていない。スクールバスでの送迎も考えられるが、対応は難しい。一関市では合同チーム等の練習を保護者負担で送迎している。今後も外部事例を

調査し、負担軽減策を考えていく。

**問** 部活動の所管が外部団体へ移されると、学業とは異なる生徒の一面を見る機会が失われるのではないか。

**教育長** 地域移行を推進しつつ、学校部活動の外部指導者と学校とが密接に連携し、生徒の良さを共有していく。また、その長所を伸ばせる部活動の環境を整えていきたい。

**問** 具体的な外部指導者と学校サイドの情報共有手段はないか。

**教育次長** その待機館活用を考えている。今後、優先的に調整しながら考えていきたい。



氷室 裕史 議員



まだ具体的な結論には至っていない。スクールバスでの送迎も考えられるが、対応は難しい。一関市では合同チーム等の練習を保護者負担で送迎している。今後も外部事例を

日常的口頭連絡の他、定期的な日誌等が必要と考える。また、外部指導者は子どもたちをよく知る方々をお願いできればと考えている。

**問** 来年度から17時から18時の間、学校へ滞在できないという話もある。エピカの活用は交通リスク、一時帰宅は保護者負担が増える。学校内に留まるべきではないか。

**教育次長** その待機館活用を考えている。今後、優先的に調整しながら考えていきたい。

### 空き家の管理体制は

答 地域おこし協力隊と連携を

**問** 今後の空き家に関する新規補助事業等はどのように考えているか。

**町長** 第2期平泉町空き家等対策計画のアンケート調査で解体・修繕・家財処分などのニーズがあることから、今後検討していきたい。

**問** 全国的にも空き家は増加しており、今後は地域、公的機関が一丸となって取り組むべきではないか。

**町長** 空き家は個人資産であり、過度な手助けは他者との不公平感が生じるため慎重に行いたい。が、今後も空き家管理

の周知等を広く行いながら、一丸となって検討していきたい。



相談者に利便性を

部活動は「地域移行」であり、決して地域への丸投げであってはならない。保護者・生徒への負担は最小限にすべきである。

議員のひとりごと



千葉多嘉男 議員

### 高齢者生活支援サービスの充実

答 ニーズに応じた支援に努める



在宅生活を支える生活支援の充実についての取り組みは。

町長 地域包括ケアシステムの基礎となる居住環境の確保として、介護保険や高齢者及び障害者にやさしい住まいづくり推進事業を活用した住宅改修の他、介護保険施設や有料老人ホーム等の介護保険外の施設の情報提供など、関係機関と連携し、高齢者のニーズに応じた支援に努めていきたい。

在宅で介護をしている家族等の経済的負担や身体的負担の軽減を図るよう、各種サービスの提供をしているが、今後サービスの拡大を図る考えはあるか。

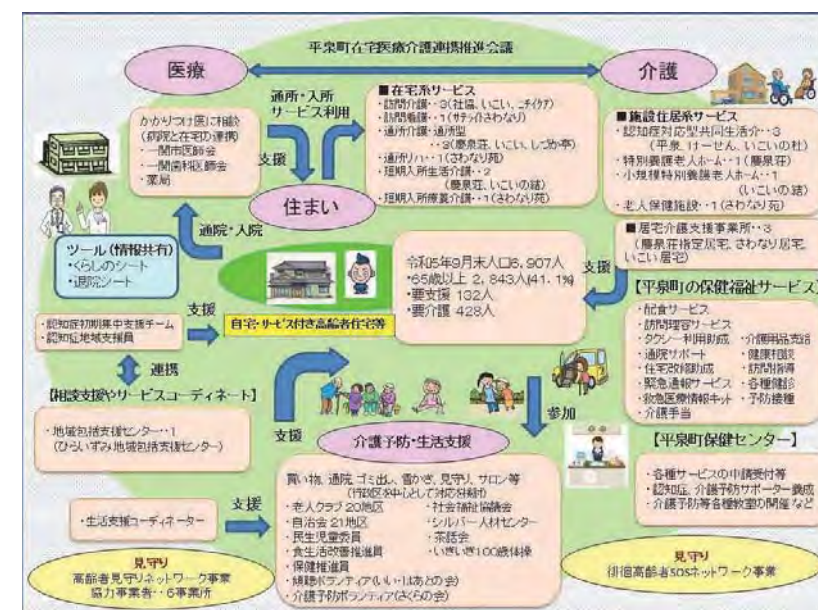
保健センター 現状ではサービスの拡大を図る考えはあるか。

保健センター 現状ではサービスの拡大を図る考えはあるか。

拡大については予定していないが、高齢者が可能な限り住み慣れた自宅において安心して暮らせるよう、関係機関と連携しニーズの把握に努めていく。

く、要支援者となり得る高齢者も含まれており、早期に登録することが急務では。

町民福祉 区長会等ながら、個別避難計画策定を進めていきたい。



各種サービスの拡大を

### 介護予防システムの支援は

効果的な仕組みづくりに努める

高齢者自ら健康に関心を持

町長 運動機能の向上、閉じこもり予防に関する講話及び通所等の訪問型の短期集中予防サービスの他、住民主体の通いの場を支える介護予防サポーターの要請などを通じ、高齢者自らの健康づくりと介護予防の取り組みを支援する。

地域における介護予防意識の醸成を図ることで、効果的な介護予防の仕組みづくりに努

町長 運動機能の向上、閉じこもり予防に関する講話及び通所等の訪問型の短期集中予防サービスの他、住民主体の通いの場を支える介護予防サポーターの要請などを通じ、高齢者自らの健康づくりと介護予防の取り組みを支援する。

地域における介護予防意識の醸成を図ることで、効果的な介護予防の仕組みづくりに努

いつか自分も高齢者になる時が来ることを想像しただけで不安になる。だからこそ高齢者福祉サービスの充実が重要である。

議員のひとりごと



築69年の第8分団第1屯所



小笠寺 享 議員



5月末に行われた地域計画における担い手予定者説明会での意向調査結果と、目標地図策定の今後の予定は。

町長 は、担い手として名簿登録されるメリットとして各種補助制度を活用できることや、認定農業者制度及び中山間地域等直接支払制度における集落戦

近年、全国的に休耕地を利用したビニールハウス団地が推進されているが、耕作放棄地の減少や担い手育成等において利点があると思われる検討すべきではないか。

農林振興 費用は掛かるが、今後有効的な構想だと考えている。

課長 費用は掛かるが、今後有効的な構想だと考えている。

今ある町の農産物のブランド品を中心に、他の作物もブランド化し市場に



地域農地の状況を把握することから

現在のブランド品は、町の魅力や付加価値を十分に高めている。他にも、地域性を活かした付加価値を見出す作物の生産に取組む新規就農者もいる。地域活性化につながるためにも、町内外への情報発信やPR活動等を通じ、引き続き生産者に対して支援を行っていく。

町長 現在のブランド品は、町の魅力や付加価値を十分に高めている。他にも、地域性を活かした付加価値を見出す作物の生産に取組む新規就農者もいる。地域活性化につながるためにも、町内外への情報発信やPR活動等を通じ、引き続き生産者に対して支援を行っていく。

町長 現在のブランド品は、町の魅力や付加価値を十分に高めている。他にも、地域性を活かした付加価値を見出す作物の生産に取組む新規就農者もいる。地域活性化につながるためにも、町内外への情報発信やPR活動等を通じ、引き続き生産者に対して支援を行っていく。

### 消防団施設の老朽化への対応は

答 修繕・整備を順次行っている

への影響など特別な負担を伴うが、対象となる夜間活動の定義の明確化や活動内容の公平性の確保など、バランスのとれた制度設計が求められることから、他市町村の取扱いとの権衡や財政事情を考慮し、慎重に調査研究を進めていく。

町長 団員の生活リズムや仕事

町長 団員の生活リズムや仕事

町長 団員の生活リズムや仕事

築年数を再確認し、必要な対応を図りたい。防火水槽にあたっては、堆積土砂の放射能濃度測定調査を実施するよう環境省と調整を図りながら、消防署の協力を得て水利調査を実施し、災害時の水利確保ができるよう点検を行っていく。

町長 団員の生活リズムや仕事

町長 団員の生活リズムや仕事

町長 団員の生活リズムや仕事

地域防災の拠点である消防施設の老朽化は深刻です。団員の一人として今後も携わっていかねばならないと考えています。

議員のひとりごと



三枚山光裕 議員

# イスラエルに平和のメッセージを

## 答 現時点では考えていない



**問** 町内に平泉町とイスラエル大使館との「友好プレート」がある。その関係を生かして、イスラエルとガザでの戦闘状態から停戦の実現に向け、平泉町からイスラエル大使館を通じてイスラエルに対して「平和と友好」のメッセージを送ることを検討できないか。

**町長** 国際関係の尊重と規範を守るため、日本国政府の外交政策や国家間の関係に影響を及ぼすことがないように適切、慎重な対応が求められる。イスラエル大使館との相互理解を深め、さらに友好関係を築くことが肝要。現時点ではメッセージを送ることとは考えていない。

**問** イスラエルの行為は規範から外れた国際法違反である。

**総務課長** 平泉町の交流は文化交流という視点から行うべきと考えている。友好が深まった時にメッセージを発するということは必要だと考える立場である。

**問** 平泉らしく世界平和に貢献するような手だては考えていないのか。



イスラエル大使館との友好のプレート

**問** 酪農家や畜産農家などを支える、産業動物獣医師の確保に向け、県や他自治体との連携を強化し、確保策を講じるべきではないか。

**町長** 岩手県や他自治体、関係団体と連携しながら、地域の実情に応じた対応を検討したい。

**問** 平泉町の酪農、畜産農家数や、飼育頭数は。平泉町としての畜産の位置づけはどのようになっているか。



畜産は水稻に次ぐ基幹産業と位置付け

**総務課長** 平泉町は特定地域にとらわれず、広く世界に平和を発信するという立場であると考え

る。町民には平和の祈りや原爆のパネル展示事業で戦争と平和について考える機会を提供している。また、検討

段階であるが、被爆地である広島から木を植樹することも検討している。

## 答 各関係団体と連携を検討

**農林振興課長** 酪農1軒は繁殖28軒198頭、肥育が2軒97頭の合わせて297頭。平泉町農業振興地域整備計画のなかで「畜産について水稻に次ぐ基幹産業と位置付け、飼育頭数

その他の質問  
小学校での町内職場訪問の実施について

「再審法」の改正を求めた請願の討論では泣かなくてよかったなあ！原稿書いているうちに涙が出てしょうがなかったもの。

議員のひとりごと



真筆 光幸 議員



# 東稲山麓の米のブランド化を

## 答 前向きに検討していく

**問** 平泉を代表するふるさと納税返礼品として、東稲山麓地域の米を、町独自のブランド米として位置づけ、活用する取組みを検討できないか。

**町長** ブランド化に向けて、今後東稲山麓地域農業推進協議会の中で本格的に検討したい。

**問** 東稲山麓地域で産出される米は、西日の日照時間の長さによる登熟に差が出て、食味が勝ることがデータでも証明される。道の駅やアグリ平泉と連携して、ブランド化する方策があるのではないか。

**総務課長** 農業の振興であるとか、観光産業の振興に

関係があるので、関係する課と意見交換しながら推進を図っていき

**問** 東稲桜米とか東稲西日米などとネーミングをつけてブランド化する事を検討されたい。

**総務課長** まだまだ力不足であり、今後の推進策への提言に対して、地域の特色ある商品を発掘していくために生産者や事業者との連携を深め

たい。

# 農地付き空き家の登録推進を

## 答 農地情報の登載を検討する

**問** 週末に農作業や趣味のために二つの地域に住む二地域居住を国が推奨することになった。地域の活性化や関係人口づくりの拡大などが見込まれる。農地付き空き家の登録をすすめ移住定住策として促進すべきではないか。

**まちづくり推進課長** 国が進める二地域居住策は、県の計画がまだ示されていないが、

当町としても遅れのないよう様々な国の支援等を活用できるように検討したい。

**問** 空き家の経年劣化による固定資産税の減免措置はできないか。

**税務課長** 町独自の軽減措置は考えていない。

行政が主導して東稲山麓地域の米の特産として位置づけることで、耕作放棄の防止や、農業を継続する意欲を農業者に持たせる。補助や助成が大事では無く、どう寄り添い意欲を高める施策を打つかが問われる。

議員のひとりごと

**町長** 支援策について検討する。

**問** 空き家所有者への解体修理費、維持管理費等への補助は行えるか。



東稲山麓ロゴマーク

**まちづくり推進課長** 空き家バンクに登録できるのは空き家と宅地のみである。



阿部 圭二 議員

### 運営指針改定の具体化は

答 運営委員会と協議しながら対応



**問** 放課後児童クラブ運営指針の改訂をどのように具体化していくのか。

**町長** 子どもの権利擁護の観点から、児童の健全育成の充実に取り組む。職員との給与は会計年度任用職員と同等で算定している。

児童クラブの運営は安定した経営基盤と運営体制を有することが必要である。こどもの権利や健全育成、地域の実情を理解し、運営するには現状の管理運



公営公設に準ずる児童クラブを

営委託団体が適切であるが、今後も運営委員会と協議しながら対応していく。

**問** 事業の質の向上のために第三者の評価制度や客観的な評価は取り入れているのか。

**子育て支援課長** 客観的な評価は受けていない、それぞれの児童クラブの保護者が運営委員会である総会や保護者会で要望などを聞いて参考にしている。

紙の健康保険証が12月2日に廃止になるが、マイナ保険証を所持していない方に向けた資格確認書の手配はどのように対応していくのか。

**町長** 町民にはリーフレットで周知している。国民健康保険証の有効期間が切れる前に「資格確認書」を送付する。

紙の健康保険証が12月2日に廃止になるが、マイナ保険証を所持していない方に向けた資格確認書の手配はどのように対応していくのか。

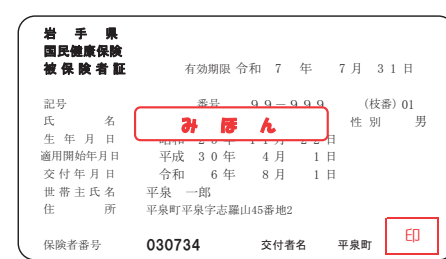
### マイナ保険証の解除は可能か

答 現在情報を収集している

**問** マイナ保険証の利用率は。

**町民福祉課長** 今年2月に国から事務連絡が発出され、10月ころから解除の手続きが可能とされたが、その後の詳細な連絡はなく、関係機関を通し、情報収集を行っている。

マイナ保険証の利用率は。被保険者のマイナ保険証の利用率は令和6年1月で9.3%である。



もうすぐ廃止の紙の保険証

**問** マイナ保険証をやめたい人は登録を解除ができるのか。

賃金は上がり、エネルギー価格が上がっています。冬に向かって、町民すべてに燃料費の補助を。

議員のひとりごと

## 写真で見る議会の活動



岩手県への要望活動 (7月16日)



国への要望活動 (8月7日~8日)



県南地区議会議員研修 (6月21日) 西和賀町で町独自のブランド山菜、蕨を活用した町おこしについて研修を受けました。



県選出国会議員との懇談会 (8月23日) 衆議院議員が出席し、県内町村の議長から各地域の要望、意見交換を行いました。



町村議会広報研修会 (9月25日) 議会広報に関する研修会が東京で行われ、皆さんに読んでもらえる議会広報誌作りの参考となりました。



紫波町議会との議員交流会 (10月4日) 奥州藤原氏第二の都市と呼ばれる比叡(ひづめ)について関連遺跡の紹介を受けました。

# 生活基盤の充実を

安心で安全の住みよい町に

産業建設常任委員会では、9月会議の中で今年度の調査テーマ「社会基盤整備、農業振興策、観光・産業振興策」をもとに、関係する課の取り組みを調査し、委員間で話し合い、より良い施策につながるよう協議を行いました。

## 町民の思いを汲み取るべき

問：生活道路整備評価基準に基づく、町道整備は行われるのか。町道滝ノ沢林線については3度の請願・陳情があり、町民の強い思いがあるのではないかと。

答：町道滝ノ沢林線の優先順位は高く、また総合計画の実施計画にも盛り込まれている。町民から用地の提供等があることも把握しており、実現に向けて取り組んでいきたい。



まえだつよし  
前田次代志さん  
(長島字月館)

私の近辺に生活基盤となる主要地方道一関北上線の十字路があり、とても危ないと常々思っています。

朝の交通量も多く、横断歩道や信号機が必要と考えます。

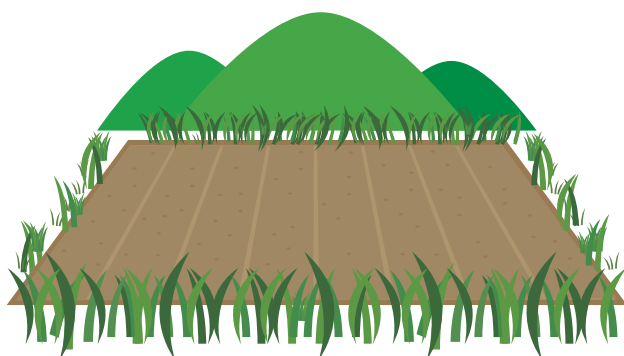


信号機の設置を(長島字月館地内)

## 町民の生活基盤の整備を

問：地域公共交通会議が任意協議会から法定会議へ移行したが、会議の位置づけや今後の見通しはどのようになっているか。

答：決定事項に法的拘束力が発生し、これまでの情報交換を主とした会議から、より重みのあるものとなった。年間3度のペースで開催が見込まれる。



## 農業の実態把握を

問：農地・農家の将来に農地利用最適化推進委員も頭を悩ませている。町としてどのように考えを汲み取っていくのか。

答：高齢化等による離農が進み、管理が難しいことも把握している。より一層の実態把握に努め、実情に沿って適切に取り組んでいく。

# ひらいずみで暮らす

子どもからお年寄りまで、暮らしやすい町に

総務教民常任委員会では、9月会議の中で今年度のテーマ「人口減少対策」をもとに、関係する課の取り組みを調査し、委員間で話し合い、より良い施策につながるよう協議を行いました。その質疑の内容をご紹介します。

## 定住促進のための方策を

問：定住を考えている人向けに、移住体験ツアーなどを町が計画し、平泉をより深く知ってもらう取り組みをしてはどうか。

答：スパルタキャンプが1か月前後の移住体験の役割を果たしている。今後、住環境を整えば、目的を絞った体験ツアーも考えられる。



上野台住宅、高田前住宅の各1戸を家電付き、低家賃で1年を上限におためし居住体験ができます。

## 受診率を上げる工夫を



ちば けいこ  
千葉 恵子さん  
(平泉字東郷)

百歳体操で保健師さんから後期高齢者健診を勧められました。肝機能検査などの血液検査もあり、ぜひ受診したいと思いました。

ただ高齢者は足の確保が難しく、何らかの工夫が必要ではないでしょうか。

## 検診受診率の向上を

問：がんは早期発見が非常に重要である。受診率の向上に向けてどのような取り組みがされているのか。

答：20歳から60歳の間の5歳刻みで節目検診を推奨している。これまで検診を受けてこなかった方も、受けやすいよう無料券の配布に取り組んでいる。

## 外部委託も視野に

問：自治体DX推進におけるドローン活用を目的とした実証実験は町や職員にとって負担が大きいのではないかと。

答：ドローンの活用は町直轄にこだわらず、必要業務料を把握したうえで、民間委託や近隣市町村との共同利用も検討したい。



町民ひとりひとりに町への思いがあります。ご自身の考えや思いを聞いてみました。

## 故郷への愛、

## これからの平泉へ

高杉 ひゃん子さん(12区)

高杉さんは40年余りを東京で過ごし、14年ほど前に高齢の母親の介護を機に平泉町へ戻ってきました。

40年振りに平泉町へ戻ってきた率直な感想を教えてください。

昔と比べて遊べる場所や買い物をする



りです。専用のごみ袋はどこで買えばいいの？ごみはどこに出せばいいの？転入者のしおりみたいなものがあってもいいのではないのでしょうか(転入者にとって第一印象は大事です！)。そして少子高齢化に悩まされている町ですが、世界的な観光地であることには変わりません。これからは起爆剤となる名産品を生み出せるような優秀な人材を誘致していかねばならないと思います。

平泉町議会へ一言お願いします。

そもそも誰が議員なのか、何人いるかわからないのが現状ではないでしょうか。政治への無関心を広げないためにも議員と町民が接する機会を増やしていくべきです。一度ぐらいの失敗は良いと思います。それぞれが芯を持ってチャレンジして欲しいと思います。

取材しての感想

高杉さんは時折、真剣な表情で平泉を憂いつつも、素敵な笑顔とユーモアをもってお話ししてくださいました。その姿は、古き良き平泉を懐かしみながら、これからの平泉に期待を寄せていたのかもしれない。

る場所が少なくなりました。昔は近所に様々な店がたくさんあり、平泉町内だけで生活を完結させることができたとします。今ではどこに行くにも車が必須で交通網の充実が必要ではないでしょうか。

一度都会に住むと離れたくないという話を耳にしますが、今でも東京へ戻ったりすることもありますか。

平泉町に来た当初は東京に戻ること多かったですが、今では平泉町が体に染みついて、特に都会暮らしを懐かしがることはありません。

これからの平泉町はこうなってほしい、というような思いはありますか。

転入者にとって平泉町は皆さんが思っている以上にわからないことばかり

前号(184号)について  
モニターの皆様から  
ご意見をいただきました。

### 議会だより モニター コーナー

あさり きよひろ  
浅利 清廣さん



議案内容が非常に見やすくなった。



モニターの意見だけでなく、これまでより町民の声が多く使われていて良い。

こいわ よしふみ  
小岩 義典さん



議案内容は内容も簡略化され、非常に見やすくなった。



細かい表現を曲解されかねない言い回しがたまに見受けられる。

まごめ ともこ  
真籠 智子さん



全体的に見やすくなり、知りたかった項目も押さえられていると思う。



写真が多く使われ、議員の活動が少し明瞭になった。

こうの あやか  
河野 綾華さん



色の使い方、統一感などにまだ改善の余地があると思う。



硬い文章ばかりではなく、レイアウトに緩急を付けるなど興味を引けていた気がする。

すずき せつろう  
鈴木 節郎さん



表紙の写真の後ろの子どもたちが映るように、もう少し工夫できたのではないか。



町民の声が町内地域をまんべんなく拾えており、非常によく感じた。

会議風景

## 大枠の部分では高評価、 細かい構成や町民を惹きつける企画などに注力を

表紙はもう少し全体の構成を考えて写せたのではないかという意見を多くいただきました。前号で指摘された部分を改善し、議会だよりの内容自体は全体的に向上しているという評価をモニターの皆様から受けました。しかし、この評価に甘んじず、町民の皆様の興味を惹きつけ、多くの方に読んでいただけるよう広報広聴常任委員は一丸となって今後も議会だよりを作成してまいります。

# 表紙の紹介 「農福連携で社会参画を」

農業人としてのスキルと経験を活かし、今年5月に農福連携型の就労継続支援B型「ねぎまーる」を開所した施設管理者の千葉さん。

休耕地を利用し、様々な農業ができる就労施設として、ネギを中心に野菜の栽培に取り組んでいます。

利用者さんは「自然の中で気持ちよく働けて楽しいです」と笑顔で話してくれました。

スタッフ一同「今後も利用者さんの意志と人格を尊重し、地域福祉に努めていきたい」とのこと。今後の飛躍が期待されます。



ネギの収穫に勤しむ利用者さん

議会だより第183号より刷新され、全ページカラー版、5名による議会だより広報モニターの方々からのご意見、ご感想などを頂きながら、毎回の議

## あとがき

会だよりづくりに活かしております。町民の皆様にも、更に分かりやすく読みたくなるような議会だよりを目指しています。これから、冬に向けて益々手洗いうがいを励行し、インフルエンザ、新型コロナウイルス

感染症に充分気を付けて参りましょう。大友仁子

### 編集スタッフ

委員長	水室 裕史
副委員長	大友 仁子
委員	小笠 嘉男
委員	千原 圭二
委員	阿部 圭二
委員	升沢 博子

## 議長交際費を公表します

- 7月分 33,000円 (県際議長会総会、祝賀会、交流会費など)
- 8月分 18,000円 (講演会、懇談会費など)
- 9月分 12,000円 (団体懇談会費など) ※詳細はHPをご覧ください。



## 視察・調査受け入れ

- 山形県西村山地方議長協議会 「オンライン会議について」.....7月3日
- 山形県河北町議会 議会運営委員会 「オンライン会議について」.....7月9日
- 熊本県玉名市議会 建設経済委員会 「平泉町観光振興計画について」.....7月10日
- 山形県真室川町議会 議会活性化特別委員会 「議会のデジタル活用推進について」.....7月19日
- 秋田県小坂町議会 議会運営委員会 「議会のDX化について」.....10月2日
- 茨城県高萩市議会 議会運営委員会 「議会改革の取り組みについて」.....10月8日

町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

議会だよりは再生紙を使用しています